

介護サービス提供事業者調査集計結果

◆調査の概要

1 調査の目的

第7期匝瑳市介護保険事業計画策定において、サービス供給見込量を算定するにあたり、現在、第7期事業計画期間中に介護サービス事業所の新設及び拡充等を検討している事業者を把握を行うため調査を実施した。

2 調査対象

本市管内において、介護サービスを実施している者
(匝瑳市を除く22事業者に調査用紙を郵送により送付)

3 回答者数・回答率

回答者数 16事業者 回答率 72.73%

◆調査結果

問1 事業者について

所在地

匝瑳市内	14	87.5%
匝瑳市外	2	12.5%
無回答	0	0.0%
計	16	100.0%

法人種別

社会福祉法人	4	25.0%
医療法人	0	0.0%
営利法人	11	68.8%
特定非営利活動法人	0	0.0%
農業協同組合・生活協同組合	0	0.0%
地方公共団体	0	0.0%
その他	1	6.3%
無回答	0	0.0%
計	16	100.0%

問2 本市内でのサービスの提供の現状と今後（～平成32年度）の意向について

(1) 居宅介護支援

新設したい	1	10.0%
拡充したい	1	10.0%
現状維持	8	80.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	10	100.0%

新設や拡充の予定年度・	
提供量（定員等）	
H29	40人
H30	30人

(2) 訪問介護

新設したい	1	12.5%
拡充したい	1	12.5%
現状維持	6	75.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	8	100.0%

新設や拡充の予定年度・	
提供量（定員等）	
H30	20人/月
未定	1事業所

(3) 訪問入浴介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	1	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	1	100.0%

新設や拡充の予定年度・	
提供量（定員等）	
予定なし	

(4) 訪問看護【回答なし】

(5) 訪問リハビリテーション【回答なし】

(6) 居宅療養管理指導【回答なし】

(7) 通所介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	2	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	2	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）

(8) 通所リハビリテーション

新設したい	1	100.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	0	0.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	1	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
H29 10人以上

(9) 短期入所生活介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	2	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	2	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

(10) 短期入所療養介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	1	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	1	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

(11) 特定施設入居者生活介護【回答なし】

(12) 夜間対応型訪問介護【回答なし】

(13) 認知症対応型通所介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	1	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	1	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

(14) 小規模多機能型居宅介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	1	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	1	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

(15) 認知症対応型共同生活介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	4	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	4	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

(16) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護【回答なし】

(17) 地域密着型通所介護

新設したい	0	0.0%
拡充したい		0.0%
現状維持	7	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	7	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

(18) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護【回答なし】

(19) 地域密着型特定施設入所者生活介護【回答なし】

(20) 介護老人福祉施設

新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	2	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	2	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

(21) 介護老人保健施設【回答なし】

(22) 介護療養型医療施設

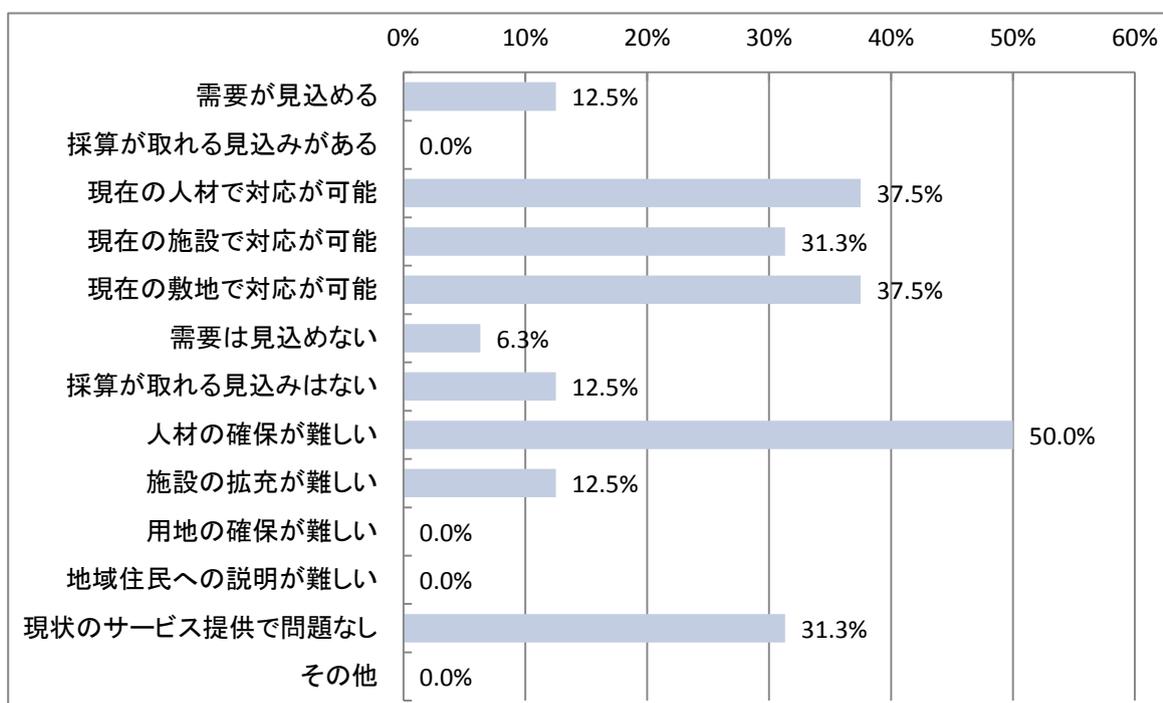
新設したい	0	0.0%
拡充したい	0	0.0%
現状維持	1	100.0%
縮小したい	0	0.0%
廃止したい	0	0.0%
計	1	100.0%

新設や拡充の予定年度・
提供量（定員等）
予定なし

※ その理由を全て選んでください。（16事業所回答、複数回答可）

需要が見込める	2	12.5%
採算が取れる見込みがある	0	0.0%
現在の人材で対応が可能	6	37.5%
現在の施設で対応が可能	5	31.3%
現在の敷地で対応が可能	6	37.5%
需要は見込めない	1	6.3%
採算が取れる見込みはない	2	12.5%
人材の確保が難しい	8	50.0%
施設の拡充が難しい	2	12.5%
用地の確保が難しい	0	0.0%
地域住民への説明が難しい	0	0.0%
現状のサービス提供で問題なし	5	31.3%
その他	0	0.0%
回 答 者 数	16	

その他の内訳
該当なし

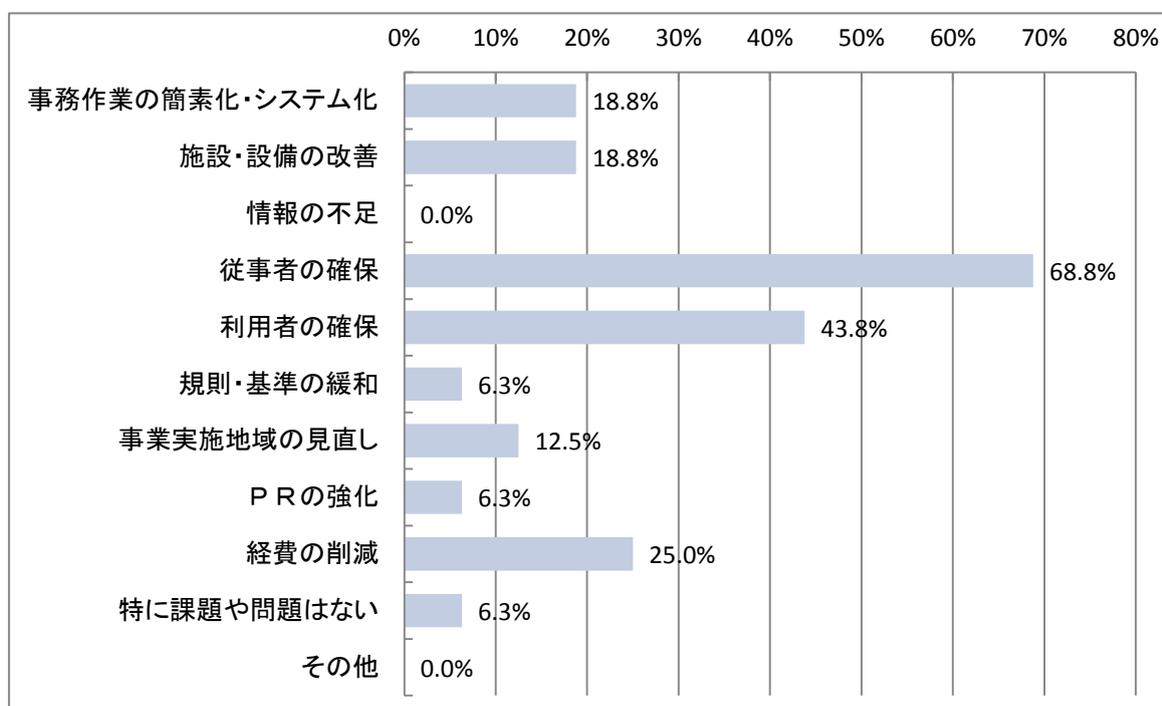


問3 事業の拡大を考える場合の課題や問題点はどのようなことですか。

(16事業所回答、複数回答可)

事務作業の簡素化・システム化	3	18.8%
施設・設備の改善	3	18.8%
情報の不足	0	0.0%
従事者の確保	11	68.8%
利用者の確保	7	43.8%
規則・基準の緩和	1	6.3%
事業実施地域の見直し	2	12.5%
PRの強化	1	6.3%
経費の削減	4	25.0%
特に課題や問題はない	1	6.3%
その他	0	0.0%
回答者数	16	

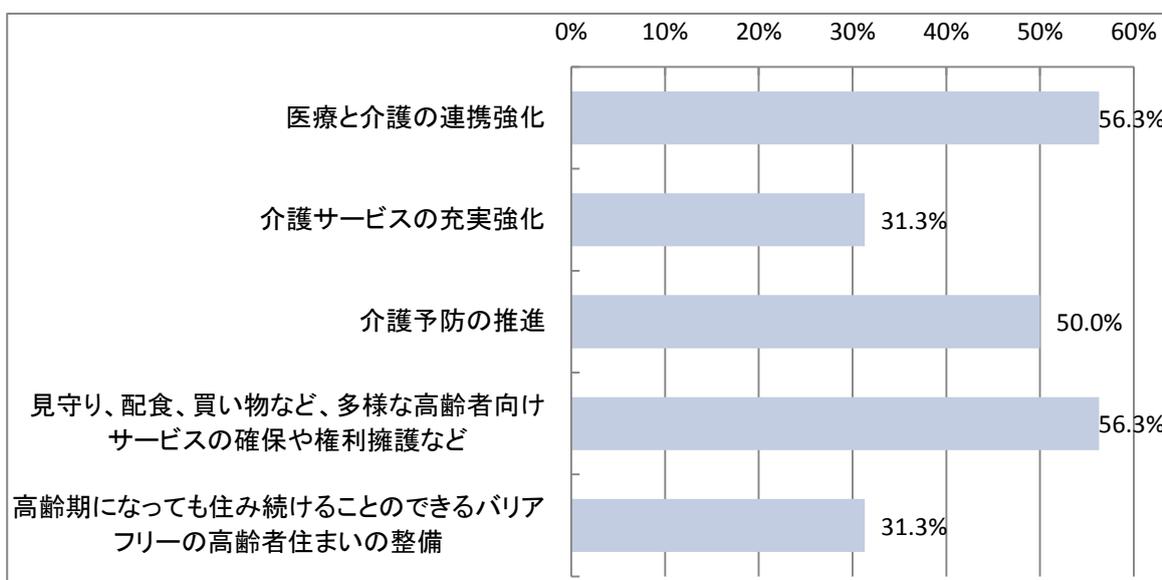
その他の内訳
該当なし



問4 市や事業者、ボランティア、その他企業など、市全体で取り組むべき課題は何ですか。

(16事業所回答、複数回答可)

医療と介護の連携強化	9	56.3%
介護サービスの充実強化	5	31.3%
介護予防の推進	8	50.0%
見守り、配食、買い物など、多様な高齢者向けサービスの確保や権利擁護など	9	56.3%
高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者住まいの整備	5	31.3%
回 答 者 数	16	



※ 取り組むべき課題の具体的な内容。

① 医療と介護の連携強化

- 自宅で困り込んだり、知識がないためにサービス無しで生活をしたり、亡くなってしまうケースの改善と認知症患者の早期発見、早期受診
- 近年病院での研修会が増えており、参加させて頂いております。今後も現在のよう研修を行って頂けるととてもありがたいと思います。
- 地域包括ケアシステムを充実させ、社会資源を多く活用できればと思います。
- 医療・介護双方多忙のなかで、必要性は理解していても、なかなかできないのが現状。地域の調整ができる市のサポートをお願いしたい。
- ご利用者様本人の状況や取り巻く家族・地域環境の多様化や変化の早さに対応しスムーズな連携を取るにあたり、現状の紙ベースでは限界があるように思える。素早く的確なケアを実施する為にネットワークシステムを活用し、多職種間で常に新しい情報を共有できることが望ましい。
- 在宅での看取りが安心して出来る体制づくり。
- 医療や介護を必要とする在宅の高齢者に対して家族に出来る事には限界があるので、家族を支える在宅療養・介護サービスの充実を図る。
- 主治医と事業所間の連携をより図れる環境づくり

② 介護サービスの充実強化

- 事業所間の連携強化。
- 匝瑳市は人口比率から考えると施設数は充分かと思えます。ただ早朝のサービスに対応できる訪問介護が少ないと感じています。
- 特養等を地域の相談窓口になれるとよいかと思えます。
- 地域包括支援センターを中心として介護に関する身近な相談窓口の強化や援助を図る体制制度のわかりやすい周知を進めてる事である。

③ 介護予防の推進

- 認知症予防や口腔ケア教室、筋力トレーニングやコミュニケーションの場づくり、若年認知症の周知。
- 介護予防の研修会で市民が気軽に参加できるものが各地域で行われており助かります。
- 散歩を安全にできる道があるとよいかと思えます。
- 前期高齢者が参加出来る体操教室。フィットネスクラブとの提携など。
- 不適切な生活習慣を改善し生活習慣病の発症予防。
- ひきこもり防止。バスやタクシーの有効活用。人材確保・人材育成。
- 予防や要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的として行う生活機能の低下した高齢者に対してリハビリテーションの理念を踏まえ、心身機能活動参加を働きかける事が重要である。

④ 見守り、配食、買い物など、多様な高齢者向けの生活支援サービスの確保や権利擁護など

- 訪問介護スタッフの車に乗って買い物に行けるようにするとか、配食サービス員の資質向上。
- 保険外の配食、買い物のサービス事業者が低額な料金で市内で活動して頂けると助かります。
- 持続的に行うこと。配食サービス等。
- 高齢期は移動ができないことが生活に直結することと考えられます。移動についてもう少し配慮があればと思います。
- 市内でも独居や老老介護世帯や家族が県外の世帯も多くなり、地域の繋がりも希薄となりつつ有る今、業種を超え全体で支える必要が有る。特に見守りは重要であり、サービス利用日外は誰とも会えない方も多く、有事の際対応が後手になってしまう。
- 介護保険サービスで担える限度があるので、（家族同居など）気軽に依頼できるサービスがあればいい。
- 独居高齢者世帯で運転免許証がないと買い物、外出、通院など不自由が生じる。乗り合いタクシーやバスなど交通機関の充実を図っていただきたい。同居家族がいても利用出来る介護保険外の生活サポートの充実、ボランティアの育成。
- 子供、障害、老人などが一緒にサービスを受けられる施設が必要と思う。
- ひきこもり防止。バスやタクシーの有効活用。人材確保・人材育成。

⑤ 高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者住まいの整備

- 農家などの昔のつくりなどへのバリアフリー化は市の財源で対応できる制度の策定。
- 空き家を利用した高齢者の住まいの整備はコストも低く効果的かと思えます。
- 玄関の高い家などは住みづらくなるので、これから新しい家を建てる方には一定条件を満たせば助成金がもらえるようにすると良いかと思えます。
- 介護保険住宅改修助成金の充実。

問5 介護保険制度や高齢者福祉について意見・要望等があれば、自由に記入してください。

- 今後共よろしくお願い致します。
- 今回、ケアマネジャーの受験者数が前年度よりも1万人以上減りました。また介護福祉士の受験者数も大幅に減りました。資格取得までに受講すべき研修が増加した事など原因はいくつもあると思いますが、受験者が増える案を検討していただけるとありがたいと思います。
- 総合事業が目前にせまってきて、規則・基準が緩和されたとしても、単価が下がること事業者として参入をためらってしまう。
- 要介護ご本人様だけでなく、家族のサポート・ケアも、地域・地区との繋がりが希薄な現代では重要であると考えます。現在、ボランティア様が開催して下さっているオレンジカフェでは地域の素敵な繋がりができていると思います。会場・人員での制約もあり、多くの開催は難しいとの事でしたが、より沢山の方が気軽に行ける場所が増えればと思います。
- 平成27年4月より介護保険制度の改定により介護報酬単価が50単位くらい下がり、また、自営業が多い地域では利用される方も少なく、グループホームを運営していく事が厳しくなっています。介護報酬の改定や入所募集地域の緩和を考えてもらいたい。
- 市全体で認知症に対する意識を高め、安心して住み続けられる環境にしていくためにも、最新の治療法を見つけて提案してくれる医師が増えて欲しい。様々な種類の職種間の人たちとの意見交換の場は今後も継続して設けて欲しいです。